

教科名		道 徳	教科書調査報告
発行者名		東京書籍	教育出版
調査の観点			
A 内容について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章教材に加えて、写真や挿絵など視覚から考える教材や漫画を活用した教材など、多様な形式の教材が掲載されている。</li> <li>いじめや情報モラルなど、道徳科以外の教育活動全体で課題に取り組む項目を「ユニット」として5点示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章教材だけでなく、体験的な学習の教材やイラストから学ぶ教材、漫画形式の教材など、多様な教材が織り込まれている。</li> <li>重点テーマが各学年に設定され、教材とコラムの構成でユニット化されている。</li> </ul>
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材に二次元コードがついており、補足資料とつながるように工夫されている。</li> <li>各学年において、自分の考えを可視化する「心情円」や「心のメーター」などの思考ツールを「考えるためのツール」として紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末「学習のてびき」の「考えよう」「深めよう」には、話し合ったりする活動や自分の考えをまとめたりの活動を設けている。</li> <li>教材文の終わり方を自由な考え方が引き出せるように工夫するなどして、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出し、考え議論することが活発になるような工夫がされている。</li> </ul>
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階に応じて、漫画家、スポーツ選手、医師等の生き方を考える手掛かりとなる人物の教材が掲載されている。</li> <li>現代的課題への取り組みとして「いじめ」「情報モラル」「SDGs」「人物教材」等、児童が今、知りたいこと、考えたいことを教材としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ選手、医師、将棋棋士等の今日の社会を創り上げてきた人々、道を切り開いてきた人々の生き方や考え方に学び、自らを高めて行こうと思えるような多彩な人物教材を掲載している。</li> <li>問題や課題を解決する力を養う教材を各学年2つから4つ用い、解決方法を考えたり、考えたことを生かしたりするための資料が取り入れられている。</li> </ul>
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの考え方について簡単な言葉で解説するSDGsコラム「つながる・広がる」が掲載されている。</li> <li>身近なものを大切にすることや海洋プラスチックごみに関する内容が盛り込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsやESDの専門家の校閲を受けることで、SDGsについての理解と実践意欲を高める教材が多数ある。</li> <li>道徳の学習を通して、17の目標について学ぶとともに、道徳的な判断力や心情、意欲・態度を養うことができる。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、対話的な学びを実現するための学び方が例示されている。</li> <li>教材ごとに、二次元コードから、朗読音声やスライドショーを視聴することができるよう便宜が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に道徳の学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組めるように「学びのガイド」を設けてある。</li> <li>巻末には、学習を振り返るシートが用意しており、学期ごとや1年間の成長を実感できるようにしている。</li> </ul>
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩市と共通した場面設定や近隣の都市の教材、多摩川の生態系を扱う教材があり、児童にとって場면을想像しやすい。</li> <li>例：「駅前広場は自転車置き場？」(5年 規則の尊重)</li> <li>「東京大空襲の中で」(6年 生命の尊さ)</li> <li>「タマゾン川」(6年 自然愛護)</li> <li>多摩市で大切にしている自然や環境問題について、身近なものを大切にすることを考える教材がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩市と共通した場面設定や近隣の都市の教材があり、児童にとって場面を想像しやすい。</li> <li>例：「横浜港のガンマンの思い」(5年 勤労、公共の精神)</li> <li>「ちよっとの可能性」(6年 自然愛護)</li> <li>自然環境を守ることの大切さについて考える教材があり、多摩市の児童にとって考えやすい教材がある。</li> </ul>

教科名		道 徳	教科書調査報告
発行者名		光村図書出版	日本文教出版
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の第1回目には、「道徳が始まるよ」という授業が設定されており、道徳の授業では何を学ぶのか、みんなで気持ちよく話し合うための「こつ」は何かなど、授業の進め方が確認できるようになっている。</li> <li>・読み物教材だけでなく、途中でコラムや資料があり、教材文と併せて学習することで内容項目の確実な定着が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「道徳のとびら」「道徳の学び方」が示されており、道徳の授業では「よりよく生きるために大切なこと」について考えるための学び方が示されている。</li> <li>・児童や学級の実情を踏まえ、年度当初には学級づくりや集団生活、よりよい人間関係の形成、年度末には振り返りや次学年を意識した内容項目や教材が配置されている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材だけでなく、シンプルな状況設定や児童の経験などから考え、「もし、〇〇だったら・・・」と想像を膨らませ、考えを深めることができる教材がある。</li> <li>・教材によっては、授業を実施する前に取り組む「学びの準備」が設定されている。事前に児童の中にある思いや経験を掘り起こし、そこから自分事として考えていくことができるよう、工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材に加えて「ぐっと深める」という学習が設定されており、演じたり詳しく書いたりして思考を深めるための手だてが提示されている。</li> <li>・別冊の「道徳ノート」が付いており、1教材1ページで自由に学習の記録ができるようになっている。また、二次元コードを用いて、自分の考えや学習内容の記録を残すときに紙とデジタルを選べるようになっている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年では「しんぞうのおとを聞いてみよう」のように、各学年で体験活動を伴う「感じよう いのち」のページを設けている。体験活動を通して実感を伴って生命に対する考えを深められるような資料が示されている。</li> <li>・「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」「SDGs」「人権」「防災教育」など、現代的な課題について、教材やコラムで設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉」「平和・人権教育」「キャリア教育」「防災教育」「SDGs」「情報モラル」「いじめ」といった現代的・社会的課題についての教材が設定されている。</li> <li>・昔から使用されている定番の物語から、東京2020オリンピック・パラリンピックなどの最近の出来事をテーマにしたものなど、幅広い内容の教材がある。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連する教材が各学年に設定されており、6年間で17の目標に触れられる機会がある。</li> <li>・各学年で「環境教育」の教材が配置されており、環境の大切さについて学習できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生から6年生には、巻末の「見つけた！ここにも道徳」で道徳科の学習とSDGsとのつながりについて考えることができるようになっている。</li> <li>・持続可能な社会づくりに向けた問題としてあげられる「環境」「貧困」「人権」「平和」などの教材が、各学年で発達段階に応じて配置されている。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の冒頭に、相手との関わりや、命・自然との関わり等で構成される、「道徳で学ぶ20のとびら」のうち、どの項目についての学習していくかをマークなどを用いて示している。</li> <li>・「学びの記録」が巻末にあり、シールなどを用いて、発達段階に応じた記録や振り返りができるように便宜がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文の初めに、物語の簡単なあらすじや登場人物が明記されており、児童の内容理解を手助けし、考えたり話し合ったりする時間を確保している。</li> <li>・導入から展開(前段、後段)までの3つの発問が示されており、児童にとって「学びの流れ」が分かりやすくなっている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題について多く取り扱われていて、多摩川があり、緑も多い多摩市の実態に即した内容である。</li> <li>・教材によっては内容と関連した本が紹介されており、読書環境が充実している多摩市の学校に適している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都に関連する教材が各学年1つ以上設定されているので、多摩市の小学生でも身近に感じられる。</li> <li>・自然や環境に関する教材が各学年で設定されており、緑豊かな多摩市に適している。</li> </ul>

教科名	道 徳	教科書調査報告	
発行者名	光文書院	Gakken	
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通して考えたいこととして「命を輝かせる」「いじめを生まない心」が挙げられている。またこれらに加え、発達段階に応じて、低学年「へこんでも立ち直る力」、中学年「みんなで力を合わせて」、高学年「世界中のいろいろな人とつながるために」と挙げられており、自分自身のことから社会全体に目を向けた内容になっている。</li> <li>・巻末には、「学びの足あと」として授業の記録を書けるようにしている。年に3回は、全体のことを振り返れるよう「まとめ」の欄がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年では「主として自分自身に関すること」のAを、中学年・高学年では「主として集団や社会との関わりに関すること」のCに重点を置いている。自分の問題から集団や社会の問題へと、広がりをもたせている。</li> <li>・全学年を通して、巻頭に自分のことを書く項目があったり、巻末には、次の学年の自分へのメッセージがあったりするなど、自分の成長を振り返ることができるような工夫がされている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名の隣りにテーマが書かれており、考えやすくなっている。</li> <li>・登場人物が複数いる場合に、物語の始めに登場人物の絵があることで、整理しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名の上には、ABCDの領域がマークで表わされており、どの内容項目を学習しているのかが分かりやすい。</li> <li>・各学年において、「心のパスポート」のページを設け、演じたり、日常生活との関連について触れたりすることを通し、自己を見つめ、自らの生き方について考えを深めていく工夫がされている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルやキャリア教育など現代の課題となっているテーマが書かれている。</li> <li>・スポーツや偉人などの教材からインターネットを題材にした教材まで、多岐に渡って時代に即応したものになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋棋士やパティシエのような人物や、新型コロナウイルス感染症やラグビーワールドカップ等の記憶に新しい出来事などを資料に入れ、意欲的に児童が取り組めるよう、工夫がされている。</li> <li>・印象的な挿絵や写真を教材の随所に配列してある。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育、情報モラル教育、障がいの有無などに関わらず、互いのよさを認め合って協働していく態度など、現代的な課題を掲載している。</li> <li>・自然愛や環境問題を取り上げ、ESDの視点に即している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な課題を通して、自分と自分を取り巻く社会や環境に目を向けながら、自らの生き方について考えることができる教材がある。</li> <li>・生命尊重、多様性、共生、いじめ防止等、豊富なテーマに対応した教材が使用されていて、現代的課題を自分事として考えるような工夫がされている。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」で、どのように学習するのかを分かりやすく示している。また学年に応じた思考ツールや話し合いの仕方、まとめ(振り返り)の仕方について分かりやすく示されている。</li> <li>・教材末に「考えよう」「まとめよう」「広げよう」があり、授業の流れが分かりやすく、どのように生活に生かしていくのかが分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の最初に、資料名とは別に資料を児童が意欲的に読み、考えたいキーフレーズを用いている。巻頭の「道徳の学習が始まるよ」で、どのように学習するのかを分かりやすく示している。</li> <li>・4つの視点ごとに色分けしたマークを使用して、児童は見通しをもって分かりやすく学習に取り組める。また、それらが教材名の上に示されている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のそれぞれの地域にゆかりのある人物や題材を取り上げた教材があり、身近な教材を通して、児童の興味・関心を引き出すことができる。</li> <li>・里山の話が掲載されているなど、多摩市の地域の実態に即している教材がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の動植物を扱った教材が多く、緑豊かな多摩市で生活する児童には物語を捉えやすい。</li> <li>・地域社会に根差した学びに向けて、日本の各地域に関連した内容が掲載され、多摩市に似たような実態の教材があり、児童にとっては場面を想起しやすい。</li> </ul>